平成26年5月23日

田隈 広紀様

プロジェクトマネジメント

計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| PM | シニア | ユーザ |
|  |  |  |

矢吹研究室C班

PM 1142016 井上乃祐

1242005 石井康之

1242105 三浦泰介

目次

[第１章　プロジェクトの概要 3](#_Toc389678108)

[プロジェクト背景 3](#_Toc389678109)

[プロジェクトの目的 3](#_Toc389678110)

[プロジェクトの目標 3](#_Toc389678111)

[ハイレベルの要求 3](#_Toc389678112)

[ハイレベルのプロジェクト記述，プロダクト仕様 4](#_Toc389678113)

[ハイレベルのリスク 5](#_Toc389678114)

[マイルストーン 5](#_Toc389678115)

[プロジェクトマネージャの責任と権限レベル 5](#_Toc389678116)

[プロジェクト承認者の氏名（と地位） 5](#_Toc389678117)

[第２章　プロジェクトマネジメント計画 6](#_Toc389678118)

[スコープマネジメント計画 6](#_Toc389678119)

[コミュニケーション・マネジメント計画 7](#_Toc389678120)

[コスト・マネジメント計画 7](#_Toc389678121)

[人的資源計画 8](#_Toc389678122)

[WBS 10](#_Toc389678123)

[ガントチャート 12](#_Toc389678124)

[体制図 14](#_Toc389678125)

[プロジェクトの契約書 15](#_Toc389678126)

# 第１章　プロジェクトの概要

## プロジェクト背景

津田沼近辺にはラーメン屋がたくさんあるが，見つけにくいところがたくさんあるので，見るけられるツールを用意し，津田沼近辺のラーメン屋を盛り上げる．

## プロジェクトの目的

津田沼近辺のラーメン屋を手早く検索でき，またグーグルマップを利用することにより迷うことなくラーメン屋に到達できるようになるアプリを作成する．

## プロジェクトの目標

プロジェクトの成功，失敗を判断するための基準となる目標を，QCDの観点から記載する．

本プロジェクトの目標は，以下の項目を達成することである．

1. 品質目標

津田沼近辺の地図を出し，その地図上にラーメン屋のアイコンと現在地を表示する．

地図上のラーメン屋のアイコンをクリックすると，そこの「食べログ」のページに飛べるようにする．

(2)コスト目標

想定工数である300時間でプロジェクトを完了する．

(3)納期目標

本プロジェクトの平成26年7月7日までに以下の成果物を納期する．

・プロジェクトマネジメント憲章

・プロジェクトマネジメント計画書

・実装の発注所

・設計書

・津田沼近辺のラーメン屋検索ツールのWebシステム（テスト報告書含む）

・納品書

・発表PPT

## ハイレベルの要求

プロジェクト継続期間中に変更されることのない（＝ハイレベル）要求事項である．

本プロジェクトに対するステークホルダごとの要求事項を記載する．

(1)ユーザ

商工会議所の要員で，津田沼のラーメン屋を発展させるミッションをもつ．

(2)シニアマネージャ

プロジェクト目標(QCD)の達成．

(3)プロジェクトメンバ

　プロジェクトの達成．

システム開発の理解．

PMBOKに基づくプロジェクトマネジメントの理解．

## ハイレベルのプロジェクト記述，プロダクト仕様

プロジェクト継続期間中に変更されることのない(=ハイレベル)プロジェクトの前提条件，制約条件を記載する．ここで前提条件とは，プロジェクト実行に当たり起こりうることを期待しているが100%発生することが保証されていない要因等が該当する．制約条件とは，プロジェクト実行に当たりプロジェクトでは制御できない要因等が該当する．

(1)プロジェクトの前提条件

プロジェクト計画書に記載された想定工数，工程計画に基づき推進することでユーザと契約できることを前提に先行投資を行う．

プロジェクトメンバは全員毎日1時間以上をPM演習に費やし10週間継続できることを前提とする．

(2)プロジェクトの制約条件

プログラム開発は演習素材を利用し，PHPを用いて行う．

プロジェクト開始時にユーザとの契約は無く，基本設計書完成後のコスト見積もり結果に基づき契約を結ぶ．

プロジェクトメンバはプログラム開発の初心者で構成され，メンバの追加はできない．

(3)プロダクト仕様

本プロジェクトが開発するシステムの主要な機能を以下に示す．

(1)Googleマップを用いて津田沼近辺の地図を表示する．

アプリをタッチすると，自動的にGoogleマップで津田沼近辺の地図を表示する．

(2)ラーメン屋の場所にピンを立てる．

データベースを用いて経度・緯度を入力し．ラーメン屋の場所にピンを立てる．

(3)ラーメン屋のピンをタッチするとコメント機能，食べログへのリンク先を表示する．

コメント機能を使うことで，行った店のほかの人が評価したレビューや自分が行った感想をコメントすることができ，食べログへリンクすることによって，その店の口コミなどの情報を得られるようにする．

## ハイレベルのリスク

以下に，プロジェクト継続期間中に発生する可能性が高い，または発生すると致命的な主要な(=ハイレベル)リスクを記載する．

(1)基本設計書終了後のコスト見積もりが想定工数を超過し，契約が成立しない．

(2)プロジェクトメンバが前提条件として想定する稼働条件を満たせない．

(3)プロジェクト計画の見積りが甘く，コスト超過，納期遅延を発生させ目標未達となる．

## マイルストーン

以下に，本プロジェクトのマイルストーンを記載する．

表1：マイルストーン

|  |  |
| --- | --- |
| マイルストーン | 時期 |
| プロジェクト憲章承認 | 平成26年4月25日 |
| プロジェクトマネジメント計画書 | 平成26年5月9日 |
| 基本設計承認 | 平成26年5月30日 |
| 中間発表 | 平成26年6月6日 |
| 検収，引渡し | 平成26年7月4日 |
| 納品 | 平成26年7月11日 |
| PD評価発表 | 平成26年7月18日 |
| PM評価発表 | 平成26年7月25日 |

## プロジェクトマネージャの責任と権限レベル

プロジェクトマネージャの責任と権限を記載する．

プロジェクトマネージャは，プロジェクトの成否に関する包括的な責任を負う．

プロジェクトマネージャは，プロジェクトメンバの担当業務に対する指示権限を有する．

プロジェクトマネージャは，プロジェクトメンバをプロジェクトから除名する権限を持つ．

## プロジェクト承認者の氏名（と地位）

プロジェクトの開始，変更，終了の承認を行う承認者の氏名と地位を記載する．

氏名:田隈　広紀（ユーザ）

　氏名:矢吹　太朗（シニア）

# 第２章　プロジェクトマネジメント計画

## スコープマネジメント計画

プロジェクトの立ち上げ

プロジェクトの基本事項（目的・目標・主要成果物など）を定義する．

スコープ計画

必要な成果物をプロジェクトマネジメント憲章に定義する．

スコープ定義

成果物を生成するための作業を遂行するためのタスクをWBSを用いて定義する．

スコープ検収

完成した成果物にシニア・ユーザが承認印を押印することにより完了とする．

スコープ変更管理

プロジェクト実行過程でスコープ変更の必要が生じた場合は，シニアの承認を得た後に決定することとする．

## コミュニケーション・マネジメント計画

プロジェクトのコミュニケーション・マネジメント計画を記載する

ステークホルダ特定

以下に，ステークホルダの特定を記載する．

表2：ステークホルダ特定表

|  |  |
| --- | --- |
| ステークホルダ | 氏名 |
| ユーザ | 田隈広紀様 |
| シニア | 矢吹太朗 |
| PM | 井上乃祐 |
| メンバ | 石井康之 |
| メンバ | 三浦泰介 |

コミュニケーション計画，情報配布

以下にコミュニケーション計画，情報配布の表を記載する．

表3：コミュニケーション計画，情報配布表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 名称 | 内容 | 目的 | 頻度 | 責任者 |
| 1 | PJメンバ打ち合わせ | ガントチャート更新  遅延対策検討 | 作業の予定確認 | 毎週 | PM |
| 2 | 週報 | 進捗，対策，ガントチャート，EVM | 毎週の進捗管理 | 毎週 | PM |
| 3 |  |  |  |  |  |

## コスト・マネジメント計画

プロジェクトのコスト・マネジメント計画を記載する．

コスト見積もり

プロジェクト開始時のコスト見積もりでは，未経験な作業に対する準備期間（事前勉強，等）や想定外の遅延を考慮する．

外部設計書に基づきコスト見積もりを行い，ユーザとの契約前にコスト見積もりの見直しを行う．

## 人的資源計画

プロジェクトの人的資源計画を記載する．

プロジェクト・チーム編成

以下にプロジェクト体制図を記載する．

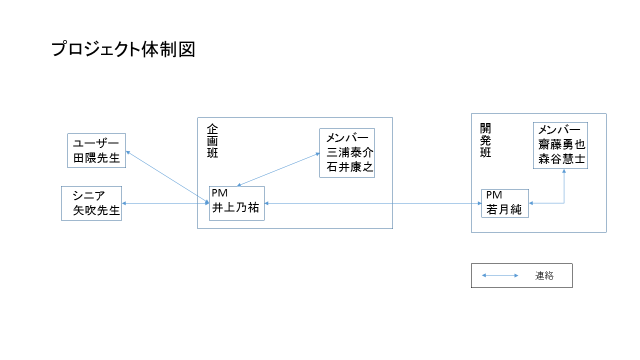


図1 プロジェクト体制図

プロジェクト・チーム育成

プロジェクトメンバで不足している能力について，いつ，誰が，その能力を獲得する（事前勉強，等）のかを決定した．

以下にプロジェクト要因育成を記載する．

表 1　プロジェクト要因育成計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 氏名 | 内容 | 目標 | 開始 | 終了 | 備考 |
| 1 | 井上乃祐 | WBSを勉強 | すべての作業，リスクの抽出 | 5/17 | 5/24 |  |
| 2 | 三浦泰介 | PHPを勉強 | 自力でプログラミングが可能 | 5/17 | 6/21 | プログラミング開始までに終了 |
| 3 | 石井康之 | ガントチャートを勉強 | 無理のない進捗管理の作成 | 4/12 | 7/26 |  |

## リスクマネジメント

プロジェクトを運営する上で、起こりうるリスクに対する対策を考える必要がある。

今回は、リスク登録簿を用いてリスクを管理する。

リスク登録簿



# WBS

津田沼近辺のラーメン屋検索

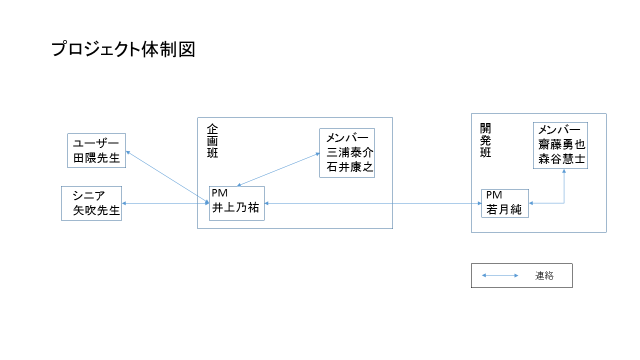
1. 立ち上げ
   1. プロジェクト憲章作成
2. プロジェクト計画
   1. WBS作成
   2. ガントチャート作成
   3. 体制図作成
   4. プロジェクトの契約書作成
3. 実行
   1. 基本設計書作成
      1. 概略
      2. 機能
      3. 画面遷移図
      4. 論理データ
   2. 中間発表
      1. スライド作成
      2. 原稿作成
   3. 外注する
      1. 内部設計書作成
      2. プログラミング作成
      3. テスト
         1. テスト計画書作成
         2. テスト報告書作成
      4. 納品
         1. プロジェクトマネジメント憲章
         2. プロジェクトマネジメント計画書
         3. 基本設計書
         4. スライド
         5. プログラム
4. 監視・コントロール
   1. EVM作成
   2. 議事録作成
   3. 週報作成
5. 終結
   1. マネジメントレポート（QCD評価報告書）作成
   2. 最終発表
      1. スライド作成
      2. 原稿作成

# ガントチャート





# 体制図



# プロジェクトの契約書

　田隈広紀様（以下，「甲」）と，井上乃祐（以下，「乙」）は，今回のソフトウェア開発管理プロジェクトについて，次のとおり契約する．

第1条　目的

乙は津田沼近辺のラーメン屋を検索できるツールを作成し，甲に納品することである．

第2条　人件費

300時間で実施し，甲はその労働の対価を請求する．

第3条　契約期間

本契約締結と同時に甲は乙に対し，プロジェクトの猶予期間として平成26年4月21日～

平成26年7月25日までを与える．

第4条　引渡義務

乙は甲に対し，平成26年7月25日までに今回のプロジェクトを終結し，各成果物の納品を完了しなけらばならない．

第5条　納品

納品物件は，基本設計書，スライド，プログラム，プロジェクト計画書とする．納品場所は乙の研究室とし，別途協議の上定める指定納品日に，納品物件一式を納品する．

第6条　納品遅れ

乙は，指定納品日までに納品ができなかった場合には，別途定める賠償金を支払う．

第7条　報告業務

乙は甲に委託された業務についての報告を求められた場合，1週間以内に乙に報告をしなければならない．

第8条　品質保証

乙は，本件業務において作成した成果物に不備があった場合，納品後12ヶ月以内であれば，無償で修正する責任を負う．

第9条　契約解除

契約者の一方が契約内容に違反した場合，双方の協議の上で，本契約を解除し，被った損害の大小にかかわらず，賠償を請求する事ができる．

　この契約を証するため，本書を２通作成して，甲乙双方署名捺印の上，各自その１通を保有するものとする．

　　平成　　　26年　　　5月　　　23日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲　氏名 田隈広紀様　　　　　 　 印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乙　氏名 井上乃祐　　　　　 　 印